

曲が僕には暗すぎる

しかし、こちらが本当は、紙の本当のおもて。最初、おもてに書いて、失敗し、消すのが邪魔くさいので、裏面に書いたのだ。その彫刻の女の顔だけを書いた。

昼食時間、食堂で、素そば食べる。

捕導部のラトレー神父も食事で、

僕の目の前に座られた。

神父と英語でベチャベチャ。

「そば、二十五円。」と英語で言ったら、理解できないのか、不思議そう。

そこで、中華そばでなく、素そばだと言うと、

「ああ、そうか。」

「これで、昼持つか。」と言いたそう。持たないけれど、金がないとは言えなかった。

三時三十三分のバスに走って乗った。

しかし、悲しくも、

急行の後の各駅停車にも乗れず、

四時二分の急行まで待つ。

次のバスの連中も、追いついて来た。

夕食後、自分で頭の毛を切り、短くした。

我ながら、上出来である。

後ろが見えないから！